

・ 開講のことば ・

医療を支える 社会インフラを担う

(一社)日本医薬品卸売業連合会副会長

河野博行



本日は大変お忙しい中、また暑さ厳しい折、2日間にわたる本セミナーにご出席いただき、誠にありがとうございます。

先月18日に発生しました「令和元年新潟・山形地震」により被災されたすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。医薬品流通には特に問題なく供給されたとの報告を受けております。

我々医薬品卸にとって、薬を届けるということ

は、ライフラインを担うことです。医療を支える社会インフラとして有事の際にも医薬品を安定供給することが期待されております。どうぞ今後ともよろしく願い致します。

さて、5月に開催された第7回通常総会において、渡辺会長は就任挨拶で、4つのことに注力していきたいと話されておりました。



ヒルトップ・セミナーに参加した聴講者

1つめは、流通改善ガイドラインの更なる遵守に取り組み、医薬品流通の本来あるべき姿の実現に向けて取り組む。2つめは、医療保険制度や薬価制度のもと、国民から信頼が得られるよう、医薬品流通を担う卸が果たすべき役割を全うしていく。3つめは、卸の安定供給機能を高めるとともに、コンプライアンスを踏まえた盤石な流通体制を構築していく。4つめとして、グローバルな観点で日本の卸の役割をご理解いただくことであり、まずは、2020年10月に開催される「IFPW東京総会」を成功に導き、国際協調を充実させていくと述べられておりました。

医薬品卸の世界大会であるIFPW総会が、2020年10月に東京で開催されます。卸連合会では東京総会に向け着々と準備を進めているところです。開催まであと1年3か月となりました。皆さんにも、

今後色々ご協力をいただくこととなりますので宜しくお願い致します。

今回のセミナーのテーマは、我々医薬品卸売業にとって大変関心の高いテーマ「医薬品流通と医療情報技術の革新」であります。

厚労省の三浦大臣官房参事官(前経済課長)、卸連合会の折本理事、流通システム開発センターの植村部長、日本遠隔医療協会の長谷川特任上席研究員、アインホールディングスの平子執行役員、クレコンの木村社長、IQVIAの宇賀神社長にご講演いただきます。

有意義なお話を聞かせていただけると私も期待しているところです。

皆さんもどうかしっかり勉強していただき、会社経営に活かしていただきたいと思います。